京都府立北桑田高等学校 CAN-DOリスト

学年	CEFR (目安)	聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking) (やり取り)	話すこと(Speaking) (発表)	書くこと(Writing)
第3学年	A2-2	○必要に応じて、調整された速さで話されれば、日常生活に関する少し長めの対話や社会的話題に関する少し長めの説明から必要な情報を聴き取り、概要や要点を詳細に理解することができる。	○日常生活に関する話題の少し長めのメール、メッセージや社会的話題に関する少し長めの説明文や新聞記事から、必要な情報を読み取り、書き手の意図を詳細に理解できる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、自分の意見や主張を理由や根拠と併せて、詳細に伝え合うことができる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、自分の意見や主張を複数の文からなる理由や根拠とともに段落を複数用いて、詳細に伝えることができる。 ○発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、自分の意見や主張を複数の文からなる理由や根拠とともに段落を複数用いて詳細に書いて伝えることができる。
第2学年	A2-1	○話される速さが調整され、はっきりとなじみのある発音で話されれば、日常生活に関する対話や社会的話題に関する説明から必要な情報を聴き取り、概要や要点を理解することができる。	○日常生活に関する話題のメール、メッセージや社会的話題の説明文や新聞記事から、日本語の支援なしに、必要な情報を読み取り、書き手の意図を理解できる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、自分の意見や主張を理由や根拠と併せて即興で伝え合うことができる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、自分の意見や主張を複数の文からなる理由や根拠とともに段落を用いて伝えることができる。 ○状況や場面に応じた語彙や文法を用いて文を発表することができる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、自分の意見や主張を複数の文からなる理由や根拠とともに段落を用いて書いて伝えることができる。 ○状況や場面に応じた語彙や文法を用いて文を書くことができる。
第1学年		○日常生活に関する対話や社会的話題に関する短く平易な英語を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	○日常生活に関する対話や社会的話題に関する平易な英語の文章を1文ずつ日本語にしながらであれば、理解できる。 ○イラストや写真がついた短く、簡単な英文を理解することができる。	○日常生活や社会的な話題について、自分の考えを正確な英語の語順でかつ即興で伝え合うことができる。	○日常生活の身近な話題について、絵や図の補助を用いながら、自分の考えを正確な英語の語順で発表することができる。	○自分の身近な出来事や社会的な話題について、正確な英語の語順で単文を書いて伝えることできる。 ○状況や場面に応じた語彙を用いて文を書くことができる。